

1979年
秋期特別展

物語り日本名刀展

● 会期 9月20日(木)~10月9日(火)

(会期中の休館日9月24・25日、10月1・8日)

● 会場 平塚市博物館 特別展示室・ホール

● 入場料 大人 200円。

小人(中学生以下)100円。



主催 平塚市博物館

後援 財団法人日本美術刀剣保存協会湘南支部

主な展示物

●重要文化財 越中国 郷義弘 鎌倉末期

古来より「郷と化物は見たことない」といわれるもので、在銘正真物が少ない大名匠で、正宗同様各大名家には、なくてはならないとまでいわれて重視されて来たもので、名物指定も数口現存している。本作は「名物松井郷」と呼ばれ、その名の由来は、「細川家の松井佐渡守所持」からくるもので、後、紀州徳川家へ伝えられた。

●重要刀剣 伯耆国 安綱 平安時代

平安の昔、源頼光が大江山で酒頭童子を退治したものの太刀が、この安綱同作のもので、本料は、世に「童子切安綱」と呼ばれ、現在国宝に指定されている。

など、重要文化財四振、重要美術品四振、重要刀剣七振、県重要文化財二振を含む40数点を展示する。